

2024.07.04. 木曜礼拝「人々が終わりの時だと知ってさえいれば」

ダニエル8章 & 聖餐式

JD ファラグ牧師

頭を下げ、一緒に祈りましょう。主よ、なんと美しい主で救い主か。私のイエス・キリストは。あなたを褒め称えます。今晚、すべての栄光をあなたに捧げます。主よ、今夜、御言葉に入るとき、私たちに語りかけてくださいますか？ あなたはまた、力強く生きておられる御言葉です。主が私たちの人生を変えてくださり、あなたに引き寄せて下さいますように。ですから、主よ、私たちが受け取れるよう魂と思いを静めてください。主よ、今夜あなたが私たちにご用意されている事から気を散らせるような私たちの人生で起きているかもしれない考えを、何もかも取り去ってください。この学びと JD 牧師を祝福ください。彼を見守り、導き続けてください。同時に彼の家族を導き、彼らを守ってください。これらのことをイエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。わお～！！こんばんは。7月4日米国独立記念日に、ようこそ！！ 7月4日に教会に来るなんて信じられません。あなたがたはどうしたのですか？ はっはっは！ どうぞご着席ください。オンラインでご覧の方も歓迎します。まだ聖餐式セットを取っておられないなら、今のうちに取っておいてください。聖書の学びの最後に、共に与りますからね。私はどこにあるか探しているところで、お、いつもの場所にはありませんね。前に置こうと言ったのは、何かの間違いだったんでしょうね。なので、後方にあります。でしょ？ OK。

用意しておいたほうがいいですよ。オンラインの方、一緒に与るなら、今のうちに用意しておいて下さい。今夜の聖書の学び「ダニエル書8章」の終わりに、一緒に聖餐式に与れます。来週も言うつもりですが、言っておきます。今、言います。一つ持つてるよ。もう一つくれるの？ どういうこと？ 水の洗礼を受けるときみたいだね。”この人には1回じゃ足りないから、2回受けないといけないかも”みたいに。でも、ありがとう。そう、そう。OK。はい。あなたは聖餐式を、3回くらいする必要があるかも。今夜の章について言っておこうと思いますけど、主の御心なら、来週の9章についても言います。私たちはまさに、スリリングな祝福とご馳走の中において、これらは非常に預言に富んでいます。そう、この書の残りの部分がすべてそうなんですけど、でも今夜は、特に見ていくのは、ダニエルが、近い内に成就することについての別の幻を見て、でも、そのことが、今度はまだ起こっていない、時の終わりに起こることを指し示します。つまり、二重預言の一つだと言え、過去に話しましたね。成就するのは、ええ、非常に詳細で、この特定の章のこの特定の預言のせいで、聖書の批評家たちが、ダニエルが書いたとされている「ダニエル書」は、当時のダニエルによって書かれたものではないと主張するわけです。そんな正確なことはあり得ないから、明らかに後から書かれたものだ。実際の出来事が起こる200年、150年ほど前に、なぜそのようなことが起こるのか、何年も前に詳細に書かれているのは、それ以外に説明がつかない。あり得ない。これは預言者ではなく、歴史を記録した歴史家によって書かれたのだ。早送りして「マタイの福音書24章」で、来週見ますけど、イエスが、歴史家ダニエルを引用されます。まだ早すぎますね。ダニエルは預言者です！！ イエスは、預言者ダニエルの「ダニエル書」9章27節を引用されるのです。だから、もしそれが後に書かれたのだとしたら、イエスは嘘つきだということになります。早すぎますね。ゆっくりします。私たちは今夜、この中に入りますから。今日は7月4日ですから、バーベキューの食べ過ぎかもしれません。いいでしょう。つまり、私が言おうとしているのは、これらの預言は、その具体性において正確であると同時に、その激しさにおいて不安を抱かせるということ。今夜、この章で私たちが見ることになるこれらの預言は、非常に不穏なもので、章の終わりに、ダニエルは実際に気を失い、何日も病気になったと書かれています。それくらい、彼にとって気がかりなことなのです。だから、なぜかという疑問が湧きます。これは神の御言葉の中でこうなる箇所の一つで、「はい、ちょっと待って。」ダニエルは、預言者で、これは初めてのロデオではありません。ダニエルが幻を啓示されるのはこれが初めてではありません。また、それは最後でもありません。彼はすでに知っています。すでに2章で夢と像の幻を解釈しました。だから彼は、まだこの先の未来に成就する預言的出来事があることはすでに知っています。しかし、なぜか、この特別な預言は、彼を根底から揺さぶります。尋ねるべき質問は、「なぜか？」ダニエルはなぜそんなに動揺しているのか？ 考えとしては、それは、彼が当時の人々に苦悩していたことと関係があると思います。今の私たち同様、終わりであることを知らな

い人々に苦悩している。だからこのタイトルにしました。説明になったと思います。たぶん、ただ、友好的な注意喚起の意味で、皆さんに知ってもらうために、私は、これはもう 2、3 年前のことですけど、変えたのです。木曜日の夜の学びは、章ごと、節ごとの、展開的解説だから。日曜の朝（新約聖書）は聖句中心ですが、木曜日の夜（旧約聖書）は説明的な学びで、2020 年か 2021 年頃から、私は学びにタイトルを付け始めました。タイトルが教訓になるから。だから、「よし、今夜は『ダニエル 8 章』だね。よっしゃ〜！ で、何について？」それは終わりについて。より具体的には、人々は、そうでないかのような生活を送っている。彼らは何が起こるかまったく理解していない。ほら、外出するときとか、そして今日は、おそらく多くの人々にとってその良い例でしょう。当然、独立記念日を祝う日だから。それは悪いことではありませんが、私はこのレンズを通して人々を見て、私は、時の終わり、終わりの時というレンズを通して人々を見て、とても辛く、大変不安で、非常に苦しい。人々が、知っていたならと。私たちはこう言いますね。人々が何が起こるかを知ってさえいればと。ですから、それが、これらの具体的な預言に関し、私たちがここでダニエルについて見ることだと思います。では皆さん、準備はいいですか？ 祈って始めるべきですか？ よろしい。

天のお父様、ありがとうございます。主よ、「ダニエル書」のこの章を感謝します。でも、主よ、私たちがそこから得るために、あなたが私たちに望んでおられることをすべて私たちに与えてくださいますように。そのために、聖霊の力がどうしても必要です。何世代も前に書かれたものであっても、今の私たちの人生に当てはまるのが非常にたくさんあるからです。章の終わりに向かって、この章は私たちの今を、この時を私たちが生きているこんにちを語っています。ですから、主よ、私たちがこのあなたの御言葉に耳を傾けますように。聖霊によって、主よ、私たちに導き、私たちの人生に語りかけてください。そうすることで、私たちに救われていない人々、預言者ダニエルが語るこれが終わりであることを何も知らない人々への心を与えてください。主よ、イエスの御名によって祈ります。アーメン。では、始めましょう。1 節、

ーダニエル 8：1ー

ベルシャツアル王の治世の第三年、・・・

これは時系列ではなく、「ダニエル書」は 2 つに分かれています。最初の 6 章は歴史的、後半の 6 章は預言的、そういう合計 12 章です。興味深いことに、2 章の、大体 14 節から 7 章までは、すべてアラム語で書かれています。なぜか？ 大半が異邦人のために、異邦人に対して、書かれたものだから。で、先週の 7 章になると、アラム語からヘブル語に転換します。なぜなら焦点がイスラエルで、当時も、未来も、そして現代である今もです。ダニエルがこの幻を受けた時、ベルシャツアルがバビロンの王でした。そのタイムスタンプです。（ベルシャツアル王の治世の第三年、）

・・・初めに私に幻が現れた後、私ダニエルにもう一つの幻が現れた。

ーダニエル 8：2ー

私は幻の中で見た。見ていると、私はエラム州にあるスサの城にいた。なお幻を見ていると、私はウライ川のほとりにいた。

これは現代のイランです。これは、古代名エラム、ペルシャ帝国です。スサはその都市で、おそらくダニエルは、当時バビロンがあったイラクからイランに仕事で派遣されたのだろうと考えられています。

ーダニエル 8：3ー

私が目を上げて見ると、なんと、一匹の雄羊が川岸に立っていた。それには二本の角があつて、この二本の角は長かったが、一本はもう一本の角よりも長かった。その長いほうは、後に出て来たのであつた。

これはすべてまもなく解釈されますが、この二つの角の一本は、メドを表し、もう一本の角はペルシャです。バビロニア帝国を征服したメド・ペルシャ帝国。正に、神がダニエルに幻で明らかにされた像、金より劣る銀、肩から腕の部分。だから、二つの角があります。長い方が後になっているこの詳細の理由は、メド王ダレイオスが最初だったことを覚えていますでしょ。彼は、62 歳で亡くなりました。この話を再び持ち出したのは、私が 62 歳になるからです。彼は 2 年間君臨し、62 歳で死にました。それはともかく、彼が亡

くなると、メド・ペルシャ帝国は、なんというか、メドが無名になり、ペルシャが突出して支配的になりました。で、この角は、、これってまだ起こってませんよ。彼は、二本の角で表されるように、メド・ペルシャ帝国がバビロニア帝国を征服することを預言しているのです。しかも、非常に具体的に言うのが、もう1つの角、もっと長い角、後の角は、ペルシャ帝国のキュロス王、です。事実、いくつかの解説書でも、メド・ペルシャ帝国と呼ばれているわけでもなく、ただペルシャ帝国と呼ばれています。彼らは最後にして最強、最大にして最高の存在で、メド帝国の角の部分を追いついたような感じでした。では、4節、

ーダニエル 8：4ー

私はその雄羊が、西や、北や、南の方を角で突いているのを見た。どんな獣もそれに立ち向かうことができず、また、それから救い出す者もいなかった。雄羊は思いのままにふるまって、高ぶっていた。

ーダニエル 8：5ー

私が注意して見ていると、見よ、一匹の雄やぎが、地には触れずに全土を飛び回って、西からやって来た。・・・

この考え方は、高速で移動する、飛ぶようにということです。その雄やぎは、地面に触れているようにさえ見えない。

・・・その雄やぎには、2本の角がある雄羊がいて、

ここで、雄やぎがやって来る。

・・・その雄やぎには、際立った一本の角が額にあった。

それは誰か？ 著名な支配者、アレキサンダー大王です。あの速い動き、彼の足は、地面に触れているようにさえ見えないほど速い。当時の彼の世界征服は非常に迅速で、6年の間に既知の世界を征服しました。アレキサンダー大王については、多くの物語や伝説がありますが、よく出てくる一つが、彼が29歳になる頃には、征服すべき王国がなくなり、ただ絶望して泣いたと言われていています。彼は、二本の角：メド・ペルシャ帝国を征服するギリシャ帝国で、ダニエルの像の幻に登場する青銅の腹とももです。それがアレキサンダー大王でした。これ、シェアしたと思いますが、もう一度シェアしておこうと思います。とてもカッコいいので。誰かが見せた、、これはアレキサンダー大王が生まれる何年も前に書かれたもので、パパとママがアレキサンダーと名付ける前です。それで、誰かがアレキサンダー大王に、「ねえ、あなたが聖書に出ているって知ってる？」 「そんなことあり得ない。」 「いやいやいや、あなたが聖書に載ってるよ。」 『ダニエル書』に、あなたが具体的に預言されているよ、アレキサンダーさんよ。」 「そんなことあり得ないって。」 「あり得ます。」 「見せてみるよ。」 「OK。」 そこで彼は、アレキサンダーに「ダニエル書」のこの箇所とこのアレキサンダーについての預言を見せました。アレキサンダー大王がエルサレムを惜しんだのはそのためです。滅ぼしませんでした。こんな風です。「ちょっと待って。これには何かがある。そのままにしておこうと思う。」

でも、彼は29歳までに全世界を制覇しました。いろいろ見回して、あなたがそのような年齢層だったらと考えています。君はまだ赤ん坊。でも、29歳が何なのかさえ私は覚えていません。とうの昔だから。でも、このことをしっかりと理解してほしいのです。彼はすべてを手に入れ、29歳にして既知の世界をすべて征服した。で、これからどうするのか？ そう、彼は大酒を飲み始める。彼の死に方をご存知ですか？ 彼が何歳で死ぬかご存知ですか？ 32歳です。彼は32歳で死ぬ。戦死じゃありません。もう戦いがないから。それで何が起こったのか？ ええ、彼はかなり酔っぱらって、かなり大量に飲んで、大雨の中、帰宅し、濡れた服のまま気を失い、肺炎を起こして死ぬ。本当にその情報を知る必要があったの？ という感じです。はい、遅すぎます。あなたはもうその情報を知りました。

ーダニエル 8：6ー

この雄やぎは、川岸に立っているのを私が見た、あの二本の角を持つ雄羊（メド・ペルシャ帝国）に向かって、激しい勢いで突進した。

アレキサンダー大王の成功の秘訣は、移動がとても速かったこと。彼は大軍を持たず、常に劣勢でした。し

かし、勝利した方法は、彼はとても素早く、征服した諸王国を油断させたからです。相手は準備ができていなかった。彼らは想像もしていなかった。彼らは、ギリシア帝国について聞いていました。このアレキサンダー大王は動きが速いと。彼は行く手を阻むすべての王国を征服している。「でも、しばらく時間がかかるだろう。それに、我々はここなんだから。」考えてみて下さい。この幻、この預言は記録されました。当時、誰かにこう話していたら、バビロニア帝国を征服したメド・ペルシャ帝国をギリシャ帝国が征服した。あなたの反応はこうでしょう。たぶん皆さんは違うでしょうけど、私よりずっと霊的だからね。私は自分のことを話します。私の反応はこうです。「はっは〜！！　へ〜、そっか〜。あり得ない。ギリシャはまだ地図にかすりもしていない。そんな彼らが、この強大なペルシャ帝国を征服するほどの速度と力でやってくると言うの？　偉大なバビロニア帝国を征服したのは誰？そんなことが起こるはずがない。」

いや、それは起こることです。神がそうなることと仰ったから。神はそうなさいます。何年も前からそれを詳細に預言されているから。だから、そうなることに疑問の余地はなし。なぜなら、神がそう仰り、それが実現したとき、あなたはそれを見てこう言うだろうから。「神だけがお出来になることだ。」ええ、そう思う？　ですから、

ーダニエル 8：7ー

見ていると、この雄やぎ（アレキサンダー大王）は雄羊に近づき、怒り狂って雄羊を打ち倒して、その二本の角をへし折ったが、雄羊にはこれに立ち向かう力がなかった。雄やぎは雄羊を地に投げ倒して踏みつけた。雄羊をこの雄やぎから救い出す者はいなかった。

ーダニエル 8：8ー

（面白くなりますよ。）この雄やぎは非常に高ぶったが、強くなったときにその大きな角が折れた。・・・

（アレキサンダー大王のことです。）・・・そしてその代わりに、天の四方に向かって、際立った四本の角が生え出て来た。

ここで止めます。私たちはこのことについて話しましたね。「ダニエル書」でも繰り返し出てきたから。アレキサンダー大王はここで死に、二人の息子がいましたが、まだ若く、大王は32歳で死にます。死ぬ前に、自分が死ぬことを分かっています。彼は部下に、最も力のある者に王国を与えよと言います。その後、強力な闘争が起こり、王国は4つに分割されることとなります。「際立った四本の角」と示される通り。彼らはすべて地域に分かれ、絶えず互いに争っています。ダニエルが見た幻の通りが起こりました。アレキサンダー大王が死ぬ。聖書に載っているアレキサンダー大王の預言を伝えた人は、その部分を伝えたのでしょうか。「あなたは死にますよ。良い結末じゃないよ。結末を知りたいですか？　ネタバレ注意。4人の部下がすべてを奪い取って、、、」たぶん伝えなかったでしょうね。私ならそこは知りたくありません。アレキサンダー大王の部分が好きです。それなら私にも言えます。では、9節、ここで非常に興味深い方向に行きます。

ーダニエル 8：9ー

そのうちの一本の角から、もう一本の小さな角が生え出て、・・・

これは、アンティオコス・エピファネス。なぜ私はこの名前が言いにくいのか分かりません。アンティオコス・エピファネスエピファネスの意味は、、、この人物アンティオコスは、4世で、エピファネスの意味は、、、アンティオコスは、、大変な週でしたから、、、名前じゃなくて称号です。目を見張るような、衝撃的なという意味です。アンティオコスは壮絶。

・・・南と、東と、美しい国（イスラエル）に向かって、非常に大きくなっていった。

ここからが本当にひどく、本当に速攻です。で、10節、

ーダニエル 8：10ー

それは大きくなって天の軍勢に達し、天の軍勢と星のいくつかを地に落として、これを踏みつけ、

ーダニエル 8：11ー

軍の長に並ぶほどになり、(今、イスラエルです) 彼から常供のささげ物を (神殿の中) 取り上げた。こうして、その聖所の基はくつがえされた。

(次に見るように、それは冒流されました。) これが歴史的に知られていることです。で、これは預言で、ダニエルにとってはまだ未来のことです。しかし、私たちはそれを預言としてではなく、歴史として振り返っています。これはすでに起こったのです。神殿の冒流、「荒らす忌まわしいもの」と呼ばれています。

(ダニエル 11 : 31、マタイ 24 : 15 参照) 日曜日の聖書預言・アップデートでこれに触れ、おそらく第二礼拝の説教でも、ゼウスの王座としても知られるサタン王座があるペルガモンの教会の話で述べました。このアンティオコス・エピファネスが何をしたか知りたいですか？ 彼は、異教の神であるゼウスの像を得て、エルサレムにあるユダヤ人の神殿に据えた。それが彼の最初の失敗でした。それで十分悪いと言うなら、彼はそれだけにとどまらず、祭壇の上で豚を生贄に捧げ、その穢れた豚の血を取り、それはユダヤ人にとっては考えられないことで、彼は、その豚の血を、至聖所の契約の箱の上に振りかけた。そして神殿を穢した。歴史家によれば、これは紀元前 168 年の 12 月に実際に起こりました。それが、今から関係してきます。

ーダニエル 8 : 12ー

背きの行いにより、軍勢は常供のささげ物とともにその角に引き渡された。その角は真理を地に投げ捨て、事を行って成功した。

なぜか？ 神がそれをお許しになられたから。なぜ？ 神が、偶像崇拜の民であるユダヤ人を戒められたから。で、これは興味深く、13 節、ええ、ダニエルは、これは彼が会話を耳にし、聞きながら見ている幻です。

ーダニエル 8 : 13ー

私は、一人の聖なる者が語っているのを聞いた。すると、もう一人の聖なる者が、その語っている者に言った。「常供のささげ物や、あの荒らす者の背き、そして聖所と軍勢が踏みにじられるという幻は、いつまでのことか。」

そしてダニエルは、「そう、いつまでかかるの？」

ーダニエル 8 : 14ー

すると彼は答えて言った。「二千三百の夕と朝が過ぎるまで。そのとき聖所の正しさが確認される。」

ご想像の通り、これは多くの解釈や憶測の対象となってきたわけで、それに関しては事欠かず、「待って、これは 2300 年なの？ 原文では、、、」すぐにわかりますが、ユダヤ人の一日は、夜に始まり朝に終わります。ヘブル語でヨム、1 日は、私の母国語であるアラビア語でも同じで、ヨム、日、文字通りの「1 日」か？ 2300 日？ とところで、セブンスデー・アドベンチズムは、ミラーという人物の手によってここから始まりました。彼らはミラー、ミラー・ライトと呼ばれました。(アメリカのビール) 彼らはこれを 2300 年と考え、そこで彼らはいろいろ計算し、携挙ではなく、再臨は 1844 年に起こると確信しました。そして、それが実現しなかったとき、彼らは再編成して、「よし、1845 年だ」と言った。それって、「1988 年」を思い出させませんか？ 覚えてます？ “キリストが 1988 年に戻ってくる 88 の理由”を。その本は手に入ると思います。絶版かどうかは知らないけど。無料であるべきです。そして、1989 年。だから、これをよく覚えてます。私が妻と結婚したのは 1988 年だったから、だから 1988 年を覚えてます。「じゃあ、結婚しよう、でも、結婚するまでイエス様、来ないでね。」そして私たちは結婚しました。で、オーケー、さあ、もう来てもいいよ、という感じで。その後、OK と、彼らは再編成して、1989 年、“キリストが再臨する 89 の理由”。まあ、ミラーライト達も同じようなことをやったんです。それはやめて。これは文字通りの 2300 日で、その根拠はこれです。実際、「ヨハネの福音書」10 章 2 節で言及されています。そのころ、エルサレムで宮きよめの祭りがあった。時は冬であった。(ヨハネ 10 : 22)

これは奉献祭を指していて、アンティオコス・エピファネスによって神殿が穢された後、2300 日後の紀元前 165 年 12 月 25 日にそれが終わり、穢された神殿は復旧されました。それは再奉献され、ちなみに 12 月 2

5日は、こんにちハヌカとして知られる奉獻祭の日です。ハヌカ。それは12月で、今も祝われ、ダニエルは何世代も前から、その日とその日数まで預言していたのです。

ーダニエル 8：15ー

私ダニエルは、この幻を見たとき、・・・(特にこの3つの言葉に注目してください。)・・・その意味を理解したいと願った。

願わくは、私たちが神の御言葉の意味を探し求めますように。聖書の預言の意味を探し求める。保証します。ダニエルは、「そうして本当によかった」と。こう記されてるから。

・・・すると見よ、勇士のように見える者が私の正面に立った。

ーダニエル 8：16ー

私は、ウライ川の中ほどから「ガブリエルよ、この人にその幻を理解させよ」と呼びかけている人の声を聞いた。

これ、大好きです。この16節の最後の部分の読み方を許してくださいね。「ガブリエル、この男に幻を悟らせてくれない？ 彼は本当に煩わしくて、その意味を知りたがっているんだ。彼はこのすべての意味を理解したがる。ガブリエル、こっち、こっちに来て！ こいつを助けてやって。彼はそれが解せない。この幻が何を意味するのか、彼に分からせてあげてよ。」

私たちが聖書の預言の意味を神に求めますように。ひょっとしたら、ガブリエルを派遣なさるかもしれませんよ。ガブリエルが誰なのか、ご存じ？ ガブリエルとミカエルは基本的に大天使で、ルシファーは墮落する前がそうでした。ガブリエルです。つまりこれは、ダニエルにこの意味を教えるためにインターンを送り込むつもりはないというレベルで、

「ガブリエル、思うんだけど、君があそこに行かなくてはいけないよ。」そして、ガブリエルはダニエルのところへ行き、17節、

ーダニエル 8：17ー

彼は私が立っているところに来た。(ここ大好き) 彼が来たとき、私はおびえて、(私もそうでしょう) ひれ伏した。(私も) すると彼は私に言った。(聞いて、あのガブリエルがですよ) 「悟れ、人の子よ。その幻は終わりの時のことである。」

それ覚えててね。

ーダニエル 8：18ー

彼が私に語りかけたとき、私は地にひれ伏したまま意識を失った。しかし彼は私に触れ、その場に立ち上がらせて、・・・

理解して下さい。夢は眠っているときで、幻は起きているとき。

ーダニエル 8：19ー

こう言った、(まだガブリエルはダニエルと話しています。) 「見よ。私は、_____に起こることをあなたに知らせる。・・・

この区切りにご注目ください。

・・・終わりの憤りの時に起こることをあなたに知らせる。それは、終わりの定めの際に関わることだ。

分かります？ 「ダニエル、これから分かりやすく説明するから、いいね。ここに2つの預言があつて、それを理解するには、この中に、近いうちに成就することがあることを知る必要がある。」 アンティオコス・エピ

ファネス、まだこのエピファネスが何を意味するのか、思い出せないのがイライラしますけど。とにかく、それは戻ってきますから。後でメールします。で、ダニエル、ガブリエルが彼に告げたのは、成就することが2つで、近い将来の成就是神殿が穢されたときで、そしてもう一つの成就が指すのは、終わりの時だ。

「だから、その点を区別しよう、いいね、ダニエル。」これからそれを説明しますが、基本的に似ている2つの預言について話しているということを理解する必要があります。これは、直近で成就する「荒す忌まわしいもの」と、もう一つ、終わりの定めの際には、“ある”「荒らす忌まわしいもの」ではなく、“特定”の「荒す忌まわしいもの」が成就するのです。このアンティオコス・エピファネスは反キリストの類型であり、予兆で、彼は真の反イスラエルで、イスラエルを憎み、神殿でのすべての生け贄を止め、ユダヤ人を毛嫌いしていました。そしてこれが、彼が、忌むべきことを行い、神殿を穢した理由です。なので、これはまだ成就していなかった、成就間近の本物の預言で、それは、アンティオコス・エピファネスがしたように、反キリストもまた同じことをするであろう、後の世における終わりの時を指しています。「だからダニエル、説明させてもらおうよ。」

ーダニエル 8：20ー

あなたが見た二本の角を持つ雄羊は、メディアとペルシアの王である。

ーダニエル 8：21ー

毛深い雄やぎはギリシアの王であり、その額にある大きな角はその第一の王である。

(アレキサンダー大王。)

ーダニエル 8：22ー

その角が折れて、代わりに四本の角が生えたが、それは、その国から四つの国が起こることである。しかし、第一の王のような勢力はない。

(そしてこれを見てください。)

ーダニエル 8：23ー

彼らの治世の終わりに、(←その後の時代に) その背く者たちが行き着くところに至ったとき、横柄で策にたけた一人の王が立つ。

さて、23節がその変わり目です。間近な成就の幻と、終わりの時の最終的な究極の成就の幻との。あの時、彼らが、何が起こるかを知っていれば。もし当時のイスラエルが、何が起こるかを知っていたなら。もしペルシャ人たちがあの時、終わりが来たことを知っていたなら。バビロンまで巻き戻すことになります。あまりにも巨大だったから。もし彼らが、終わりが来たことを知っていたなら。で、私たちが扱っているのは、ギリシャ帝国がメド・ペルシャ帝国を征服したところだけですが、でも、まるで私たちが終わりの日にタイムスリップしたみたいです。「こんにち」に。指し示されている反キリストは、ちなみにこんにち健在ですが、教会が取り除かれるまでは、その姿を現すことはできません。しかし、23節に入ると、今度は後の時代に早送りされます。終わりの時に。もし人々がそれを知ってさえいれば。というのも、“特定”の反キリストについての預言は具体的で、彼がどのような人物かが分かっているからです。説明をよく聞いてください。

「横柄で策にたけた一人の王が立つ。」(ダニエル 8：23)

英欽定訳(直訳)では、“獐猛な特徴を持ち、不吉な計画を理解する者”とされています。暗号めいたメッセージ、あえて言えば、Qアノン?

ーダニエル 8：24ー

彼の力は強くなるが、自分の力によるのではない。・・・

何が彼の動力源か? サタンそのものです。さて、これについては、お付き合い下さい。

・・・彼は、驚くべき破壊を行って成功し、・・・

欽定訳聖書は“素晴らしい破壊”（直訳）と訳していると思います。なんと相反する言葉。言い換えれば、彼は破壊する力がとても強いということです。彼はそうして、ただそれは、それは、、驚愕に畏怖が伴う。彼がいかに強力であるかに。

・・・成功（繁栄）し、有力者たちと聖なる民を滅ぼす。

（それはユダヤ人です。）ちょっと、繁栄という言葉も捉えておいてください。

ーダニエル 8：25ー

狡猾さによって・・・

（欽定訳の方がいいですね）“彼の政策”（英欽定訳直訳）、政治的な姿勢、方針、立場を通じて、

・・・その手で欺きを成し遂げ、・・・

そして彼は、、これが反キリストです。これが今、こんにちです。今現在。10年後じゃなく、今なのです。

・・・心は高ぶり、平気で多くの人を滅ぼし、君の君に向かって立ち上がる。・・・

それは誰？ イエスです。君の君、王の王、主の主。（ヨハネの黙示録 17：14参照）

・・・しかし、人の手によらずに彼は砕かれる。

25節に戻っていいですか？ 章を終えて聖餐式に与る前に、ここで言いたいことを見逃したので。彼は戦争によって破壊するのではなく、平和によって滅ぼす。彼はそのようにして破壊し、征服するのです。彼は平和の男となります。彼は偽キリストだから、それは偽りの平和になります。（会衆：そうです）ところで反キリストは、ご存じだといいますが、これは単に反対という意味だけでなく、特にギリシャ語では、“キリストの成り変わり”という意味もあります。余談をひとつ、聖霊様、このことを思い出させてくれてありがとうございます。アレキサンダー大王が成し得たことのひとつは、ギリシャ文化とギリシャ語をもたらしたことです。当時の既知の世界言語として、ちょうどよいタイミングで。なぜなら、新約聖書はギリシャ語で書かれるから。「何が言いたいですか、牧師さん？」私が言いたいのはこちらです。神はただ、、私は、こう語る聖句が大好きで、そして神がただ笑うんです。神がどうお笑いになれるのか、聞くのが待ち遠しいです。笑いの種類はいろいろあるからね。神は、私たちを見てお笑いになっているんです。神は時々、私たちと一緒に笑ってくださると思います。でも、もう一度自分のこととして言います。チームのためにです。神は私を笑っていると思います。私は、「まさか、そんな、何て、、」「予定通り、完璧に進んでいますよ。わたしは、新約聖書の聖典をギリシャ語で書かせるつもりです。わたしの目的を果たすために、アレキサンダーがいるのです。リラックス、落ち着きなさい。大丈夫、わたしにまかせなさい。自分のすることは分かっています。あなたはわたしが何をしているか知らないが、わたしは自分が知っていることを知っています。」

「ええ、でも、すべて、これからは誰もがギリシャ語を話さなければなりません。私はアラビア語を話さなくなるでしょう。アラム語はできても、ギリシャ語はできません。すべてギリシャ語になるんです。」

「完璧なタイミング、完璧なタイミングです。時間通り、さあ、いきますよ。」ところで、今読んできたこと、これから読もうとしていることそして御心なら、来週も引き続き、今がそうであるその終わりの時に成就する預言を読みますが、これらすべて100%の正確さで実現しました。終りの時までまだ成就していないことも、99.99%ではなく100%で成就するのが当然では？ 100%の正確さ。で、私はこれを指摘したく、そうさせていただきます。政治がらみになります。で、私はただこう言います。今となっては悪名高い、ドナルド・J・トランプが、2020年1月21日火曜日に発表した「世紀の取引」で、興味深いタイミングですけど、それは「平和と繁栄」と呼ばれました。それは、ダニエル書8章25節です。ごめんなさいね。ダニエル書8章25節です。繁栄、平和。彼は平和と繁栄によって破壊するつもりです。これらが、うまい言葉とはいいがたいけれど、終わりの時にこの反キリストを特徴づける2つの主軸となります。そして、君の君に反旗を翻すとき、ところで、先週の、いや、2週間前の7章で、反キリストが、反キリストについて

の預言で、彼が神をののしるという記述が何度も繰り返されるのを見ました。彼は大言壮語する小さな角だった。(会衆：そうです) 自慢げで、威張っていて、攻撃的で、目障りだった。これが、この話を始めるとしばしば見逃されがちな特徴のひとつだと思います。反キリストが誰なのかを推測しようとしているのではありません。その必要はありません。私たちは反キリストを探しているのではありません。私たちはイエス・キリストを探すのです。イエス・キリストが来て、この教会を携挙するまでは、反キリストは明らかにされないから。しかし、彼は健在で、舞台裏で、すでに活動しています。しかし、第二テサロニケの2章3節にある、教会携挙までは、その姿を現すことはできません。ちなみに、これは第二テサロニケ人への手紙2章と平行していて、パウロはテサロニケの信徒への手紙の中で、反キリストについてこう述べています。彼は神の神殿で自らを高く上げ、神として崇拜することを要求し、自分が神であると宣言する。(II テサロニケ 2：4 参照)

それは「ダニエル書 8 章 25 節」です。実際、第二テサロニケ人への手紙には、反キリストに関するダニエルの預言がさらに詳しく書かれています。そして、彼がその政治政策、すなわち平和と繁栄の政策で欺瞞をもたらすことに注目してください。それは惑わしです。これが「第二テサロニケ人への手紙」で、パウロが語る、神ご自身が送られる強い妄想、強力な惑わしです。(II テサロニケ 2：11 参照)

そうなれば、彼らは嘘を信じる。何故か？ 彼らは真理を拒んだから。(II テサロニケ 2：10 参照)

なので、「人の手によらずに彼は砕かれる。」というのは、(ダニエル 8：25)

彼がイエスに立ち向かうとき、それはまるで、「うひゃっ！」私たち、やるんですか？ これは互角じゃありません。対等ではありません。「人の手によらずに彼は砕かれる。」つまり、神がこの男の対処をされます。知ってます？ 反キリストは、サタンとその悪霊たちよりも先に火の池に送られます。この章を終えましょう。これは、、、興味深いだけでなく、個人的です。

ーダニエル 8：26ー

先に告げられた夕と朝の幻、・・・

そう、2300 日は夕方から始まり、朝に終わります。

・・・それは真実である。・・・

なぜ神は、ダニエルにこれを書かせられたのか？ 神の裁き、神の預言はすべて真実であり、アーメン（然り/まことに）だからです。言い換えると、神がそう仰るなら、それで決まりです。この幻は、、、私が語られたことは、とある作り話ではなく、これは真実です。起こります。

・・・しかし、あなたはこの幻を秘めておけ。・・・

待つて。なぜ？ 理由は、

・・・これはまだ、多くの日の後のことだから。・・・

おお、終わりの日のことですか？ そうです。ですから、「ダニエルよ、封印しなさい。それは今のことではないからです。しかし、この幻を封印から開く必要のある日が来ます。」謙虚に提案してもよろしいですか？ それが開かれることを。(会衆：もちろん。) もっと具体的に、おそらく終わりの5年から10年の間だと示唆します。これまで封印されていたものが開かれるのは。聖書預言についての知識が増えたからで、具体的に、この「ダニエル書」にある聖書預言です。知識が増えるだけでなく、12章を見ると、その預言の多くは、テクノロジー(科学技術)の進歩に起因します。構いません。しかし、聖書預言はまさに預言と思います。その知識、「聖書預言」の知識が増えるのは。これは行ったり来たりで、多くが例えられます。構いません。私は点と点を繋ぎます。その多数が行ったり来たりです。それをご存知ですか？ 12章です。今夜12章は教えません。もちろん、あなたが望まない限りはね。その(預言)多くが行き来し、ある人が提案したのは、聖典を探しその意味を求めながら、聖書預言が行ったり来たりする。聖典を通してその行ったり来たりで、預言についての知識が増える。なぜ終わりの時に増えるのか？(預言が)開かれるからです。今はここまでで、封印して、寝かしておいてください。パスワードを設定して、パスワードは失くさな

いようにね。あなたが見たことが実現する日が来るからです。そして、その日がこんにちです。では、最後の節です。

—ダニエル 8：27—

私ダニエルは、何日かの間病気になったままでいた。その後、起きて王の事務を執った。しかし、私はこの幻のことで驚きすくんでいた。

それを理解できなかったのである。なぜ？ その預言の最後は、当時のためではなかったからです。で、これが冒頭の質問に戻させます。ダニエルは想像できません。彼は獅子の穴から生還したのですよ。おお、待って。それは後で、ダレイオスでした。誰かが訂正してくれました。もう訂正したので、メールしないでください。私が言いたいのは、ダニエルが弱虫だと想像できません。私はダニエルを弱いとは見ていません。屈強な人物だったと思います。ダニエルが賢い人物だったことはわかります。それが彼らがダニエルを捕虜にした理由です。彼らは最も優秀な者だけを選び、それがダニエルが特別扱いされた理由です。この人物には非常に才能と才覚がありました。神がダニエルにこれらの賜物、才能や才覚を与えられたからです。ダニエルが賢く、賢明だったことがわかります。ダニエルの知恵は上からの知恵でした。しかし、小さなガリガリを想像しないでください。まず今は、彼はもうかなり年を取っていますので、すべての敬意で、年長者を敬いなさい。しかし、この人物がこのような感情に陥りやすいとは、やはり想像できません。私が思いつく唯一の説明は、再度、私が選んだタイトルはこの章の教訓です。最後まで聞いて下さい。サッと話した後、聖餐式に与ります。私のように、人を見ること（人間観察）が好きなら、過去のお気に入りの人物を観察し、、、じっと、見ないでください。その人を観察するのは、興味深くないですか？ 彼らのマナー、ふるまい、彼らの、、、彼らがどのように見えるかとか、、、私は誰も見ませんが、人って興味深くないですか？ が、外出する時、あまり頻繁ではありませんが、人を見るだけで悲しいです。それは、、、私の心は沈みます。理由は、私は何がやって来るかわかります。彼らは何がやって来るか知りません。彼らに駆け寄って、こう言いたいのです。「何が起こるかわかりますか？」でも、あなたは施設に入ったり、投獄されたくないはずで。彼らがこう考えるのがわかるからです。「何か問題でもあるんですか？ あなた、狂っているの？」私はどうしたら、、、"彼らがそれを知っていたなら"これが私がすることです。私は、祈ります。「神よ、これから起こることを伝えるために、信者である誰かを彼らの人生に送ってください。」私が伝えに駆け寄ったら、彼らは逃げ出すか、、、私は逮捕されるか、、、わかりませんが。

最後に1つ。ある待合室の壁には従業員の写真があります。わざと早めに着いたのは、ただ静かに座っていたかったからです。「待っていてもいいですか？」いえ、私はそうしたいのです。それがここにいる理由です。私は待つことが好きです。ただ待っていたいのです。電話もパソコンもメールも何も不要。メッセージも、テキストメッセージも。リン、リン、リン、リン、、、私がしたいのは、ここにおいて、心の中で主と語ることだけ。しかし、私は立ち上がり、少し歩き回り、壁にあるその部署の従業員全員の写真を見ます。彼らの写真の下に名前があったので、彼らのために祈り始めました。「主よ、もし、もし、、、」サラ。その名前がサラですよ。「サラが、新生していないなら、主よ、彼女の人生に誰かを送ってくださいますか？ 彼女はあなたが必要です。彼女の人生に誰かを送ってください。そうすれば何が起こるのかは彼女は知ります。」言いますと、私のためにされたこと、私の心は落ち着きました。私の心は沈む代わりに、落ち着きました。少なくとも私がわかるのは、神はそのような祈りを聞いてくださいます。神はそのような祈りに答えて下さいます。神は誰かが滅びるのは神の御心ではられません。すべての人がイエス・キリストの救いへの悔い改めに辿り着くべきです。では、聖餐式に共に与りましょう。「ルカの福音書」22章14節からルカが書きます。

— ルカ 22：14 —

その時刻が来て、イエスは席に着かれ、（12人の）使徒たちも一緒に座った。イエスが話しておられます。

— ルカ 22：15 —

イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事を

することを、切に願っていました。(十字架のことです。)

ー ルカ 22 : 16 ー

あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。」

ー ルカ 22 : 17 ー

そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの中で分けて飲みなさい。

ー ルカ 22 : 18 ー

あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

2度、イエスは仰いました。その意味は、次にわたしが与るのは、今夜この神の教会で私たちが行うことは、最終的に神の王国で成就する時、つまり子羊の婚宴の時です。そのことを心に留めておいてください。イエスを覚えて、今夜私たちが行うこと、、、イエスを覚えてではなく、イエスのご臨在のうちです。よ。子羊の婚宴で、イエスの花嫁としてイエスの側にいる時に。それをイエスは、2度仰っておられるのです。ルカは続けてこう書きます。

ー ルカ 22 : 19 ー

それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

「これをするたびに、わたしを思い出して下さい。これは、わたしがあなたがたのためにしたことの記念と祝福なのです。このパンは、あなた方のために裂かれたわたしの体の象徴です。」ここにいらっしゃる方は、聖餐式セットの上部を開けて、パンを出して、与るまでしばらくお待ちください。オンラインの皆さん、パンを用意していただけたら、待ってください。一緒に与れます。イエスの砕かれた御体の象徴です。骨は砕かれませんでした。これは過越しの預言の成就でした。この時、彼らが行ったことがこれです。彼らは上の部屋にいました。そう、弟子たちは過越の祭りを過越の祭りを成就するお方と祝っていました。その時点では、弟子たちは理解していなかったと思います。彼らは後に理解します。神の子羊、過越の子羊が彼らと一緒にいて、私たちの代わりにその身を裂かれ、血を流し、過越の預言成就をしようとしておられるのです。それがこの聖餐式です。この今夜の記念です。この7月4日ほどそれをするのに素晴らしい夜はないでしょう。そう、変えられました。感謝祭は、かつて感謝祭と呼ばれていました。意味深でしょ。もうそう呼ばず、ターキー・ディ(七面鳥の日)と呼ばれています。また、もうターキー・ディとも呼ばれず、ブラックフライデーと呼ばれます。七面鳥の日なんて誰も気にしないから。クリスマスの話はさせ始めないでね。日曜日、皆さんを台無しにしました。おられなかった方、動画を見て下さい。メリー・クリスマス。と、ハッピー・イースター/イシュタル。そして、ハッピーバレンタインデー。すべての異教徒の祝祭です。ですから、ご機嫌よう。でも独立記念日は、ええ、それについて話しましょう。これが私たちの独立記念祝祭です。

子(イエス) **があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。(ヨハネ 8 : 36)**

私たちは罪の奴隷の世から独立し離れ、キリストにおいて自由です。自由へのお祝いです。イエス・キリストという人物のうちに、十字架の完成された御業のうちに、私たちの自由があります。一緒にパンをとりましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、今夜をありがとうございます。なんと、あなたの御言葉の魅力的な学びに、素晴らしい締めくくりです。その日、今夜は、もうすぐ花火が空を埋め尽くすその華やかさ。しかし、花火が終わったら、星が残ります。それはあなたのご創造物です。

主よ、私はただ祈ります。この独立記念日に、私たちが共に聖餐式を祝い、それが私たちの自由を思い起こ

す象徴となりますように。主よ、あなたにおいて。主よ、あなたのおかげで。あなたのお体は、私たちのために砕かれたからです。ルカが続けて書きます。

ー ルカ 22:20 ー

食事の後、(イエスは) 杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」

ここにおられる方は、セットの下部を開けてください。お体から血潮へと向かうのには理由があります。そう、お体は砕かれねばならなかった。皮膚です。お体は、7箇所砕かれました。「7」は完成数。そこからイエスの血が流されるため。両足で、2。両手首で、2。イエスは背中を骨まで鞭打たれた。これで、5。彼らは茨の冠で、イエスの額、血管を突き刺した。これで、6。そして最後に、ローマ兵がイエスの脇腹を刺し、血と水が出てきた。「7」出生時に存在する2つの要素です。イエスは、第二のアダム。私は類型論が大好きです。どうか言わせて下さいね。イエスは第二の、そして最後のアダムです。最初のアダムは、この世に罪をもたらしました。第二の、最後のアダムは、世のために、その罪を完全に贖われた。アダムについての真実は？ 神はアダムを深い眠りにつかせ、その脇腹から女を造られました。男の肋骨から。それが最初のアダムです。第二の、最後のアダムに早送りします。イエスの花嫁は、最初のアダムと同じように、その脇腹から生まれました。それがキリストの花嫁の誕生です。キリストの教会が。イエスが突き刺されたとき、血と水が出ました。それが今、「黙示録」2章と3章で学んでいる教会時代の誕生です。でもイエスの血が、その御体が砕かれることによって、流されなければならなかった。過越の祭りの子羊と同じように、喉を切り裂く。骨ではなく皮膚を。もしイエスの骨が一本でも折れたなら、人生でそうなった時点で、イエスは世の救い主だとみなされない。イエスの骨は1本も折られなかった。過越の預言の具体性について話しています。数年前に学びました。私たちはその詳細に踏み込みました。驚愕ですよ。ぶっ飛びます。ですから、私たちが杯に与る時、思い出してほしいのです。私たちの独立と自由は、イエスの流した血潮のおかげですから。共に与りましょう。主よ、ありがとうございます。皆さん、ご起立ください。カポノ、上がってきて下さい。締めくくりましょう。とても嬉しいです。今夜キャンセルしなくてよかったね。私はこの神の教会の牧師として、大変祝福されています。皆さんが今夜来てくださり、神の御言葉を教え、聖餐式を祝うために。主よ、ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。主よ、私たちも切に願い待ち望みます。今夜、ここでしたことが、最終的に成就することを。非常に間近だと信じます。待ちきれません。大変ワクワクします。これをいつもするよう、機会を与えて下さり感謝します。これが、私たちがあなたに立ち返らせ、あなたについて、忘れていたことを思い出させるからです。あなたが私たちのためにしてくださったことを。あなたが私たちのために死んでくださったこと、永遠の命の代価を買い取ってくださったことを。ですから主よ、ありがとうございます。この時間は、私たちが再起動し、再調整し、自分を再設定できる時間です。私たちの生活は、まさに桁外れに日を追うごとに荒々しく、狂っていて、狂気じみていきます。私たちはこれが必要です。あなたのみもとに戻り、あなたに属していることを思い出し、「福音」のシンプルさと、そして、十字架上の完成された御業への感謝を。主よ、ありがとうございます。あなたを心から愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7